

「海フェスタにいがた」出展レポート

平成30年8月

「海フェスタ」は、「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」という「海の日」本来の意義を再認識するための行事として、広く海に親しむことを目的に毎年全国の主な港湾都市で開催されています。

本年は、7月14日（土）から7月29日（日）の期間、新潟市、佐渡市及び聖籠町で開催され、海や港に関するセミナー、船の一般公開及び体験航海など様々なイベントが行われました。

当連合会は、新潟水先区水先人会及び一般財団法人海技振興センターと合同で、新潟日報メディアシップで開催された「海の総合展」に出展し、操船シミュレータによる体験操船、パネル及び水先人の7つ道具（双眼鏡、トランシーバー、救命衣等）の展示、パンフレット等の配布並びにDVD「若き海のパイロット」の上映を行い、水先人及び水先業務について紹介しました。また、連日多くの方々が操船シミュレータによる模擬操船を体験されました。

期間中、展示スペースには延べ2,435人が立ち寄り、操船の難しさ、若い三級水先人や女性水先人の存在、水先人への道のりなどについて様々な質問や感想が聞かれました。来場者には水先人やその業務について理解して頂けたのではないかと考えております。

平成31年の「海フェスタ」は、静岡県静岡市での開催が予定されており、当連合会では、展示内容を一層充実させ、皆様をお迎えしたいと考えております。

